

なくせ原発!再稼働はんたい!おおさか集会



15回目の「3.11」の前に、原発ゼロの会・おおさかは3月7日に「なくせ原発!再稼働はんたい!おおさか集会」を開催し、原子力資料情報室事務局長の松久さんを講師に「原発問題の最新情勢と現在～市民運動の課題～」をテーマに学習しました。集会後は京橋駅で「原発をなくそう」と宣伝しました。

非正規差別NG!賃金の引き上げ・処遇改善を!



3月20日、大阪労連非正規労働者部会は春闘宣伝をとりくみました。「普通に働けばまともに暮せる賃金を」「同じ仕事なら同じ待遇を」と訴えました。対話では「社会を変えないと」「頑張ってください」などの声が寄せられました。

分は違法として勝利判決



3月30日、当時の門真市職労の委員長及び書記長が「勤務時間に組合活動のため席を離れたことは職務専念義務に違反する」とした懲戒処分の取り消しを求めた裁判で、大阪地裁は「懲戒処分は違法である」とした組合側勝利判決を下しました。

消費税率が有効



消費税廃止各界連絡会など3団体は、消費税が導入された4月1日になんば駅前「消費税を5%に引き下げ、インボイスは中止に」と宣伝行動を行いました。それぞれの弁士から「消費税減税こそ、物価高騰から暮らしを守る有効な手段」と訴えました。

ろーれんフラッシュ



3月6日全大阪消費者連絡会との懇談

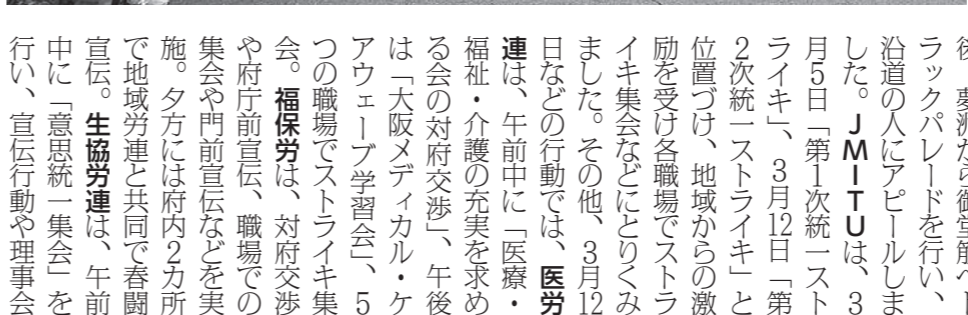
大阪労連は3月に「地域活性化めざす対話行動」にとりくみ、民主団体など10組織と「大阪の地域経済の活性化、労働者の賃金引き上げ、最低賃金の引き上げ、雇用の安定」などについて懇談を行いました。懇談先では「他県では賃上げした企業に補助を出す自治体があるので、大阪でも実現したい」「軍事費を増や

地域活性化めざす対話行動

地域循環型の経済・社会をつくらう!



建交労 トラックパレード



JMITU 田辺鉄工所支部ストライキ集会

すことより医療費を増やすことが必要」「家賃が上がると、高齢者の生活が苦しくなってきたので生活支援が大事になっている」「などの意見が出されました。引き続き、大阪労連では、中小企業支援の強化で地域循環型の経済・社会をつくらうことが必要との立場から共同を広げ運動にとりくんでいきます。

2026国民春闘勝利に向けて

各地域、産別でストライキや集会

3・12大阪総行動を中心に各組織で「26国民春闘勝利」に向けてとりくみました。各地区協や地域労連では、約100人のなかまが参加して11カ所での駅頭宣伝、宣伝カー運行など、また産別ではストライキ集会や宣伝、学習会など多彩なとりくみを実施しました。

建交労は、3月8日、「大幅賃上げを勝ち取るうーカジノ建設中止!消費

費税減税!」をスローガンに夢洲コンテナヤードで決起集会を開催。その後、夢洲から御堂筋へトラックパレードを行い、沿道の人にアピールしました。JMITUは、3月5日「第1次統一ストライキ」、3月12日「第2次統一ストライキ」と位置づけ、地域からの激励を受け各職場でストライキ集会などにとりくみました。その他、3月12日などの行動では、医労連は、午前中に「医療・福祉・介護の充実を求める会の対面交渉」、午後

へ抗議要請行動。国労大阪は、早朝の駅頭宣伝につき学習決起集会、午後JR西日本本社前での抗議行動。全国一般は、中小企業支援の拡充について近畿経済産業局との懇談。自交総連は、新大阪で春闘宣伝。大教組は、府教委へ要求書提出。国公大阪は、国会請願署名紹介議員についての確認。郵政ユニオンは3月19日に城東郵便局前でストライキ集会。専門部では、大阪労連民間部会は3月9日、大阪労連女性部は3月12日、大阪労連非正規労働者部会は3月20日にそれぞれ春闘宣伝を行いました。



国労大阪 JR西日本本社前抗議宣伝

アメリカ・イスラエルによるイラン軍事攻撃反対!



緊急 ランチタイムデモ

3月17日、大阪労連・大阪革新懇・大阪原水協・大阪平和委員会の4団体はアメリカ・イスラエルによるイラン軍事攻撃に反対するランチタイムデモをとりくみました。出発前集会で大阪労連の福岡議長は「国際法と国連を中心とした平和的解決の枠組みを尊重することが必要になる。各国がこの戦争に対する批判を行うのに対し、高市首相は『法的評価はしない』と言いつい、ホルムズ海峡への自衛艦派遣要請についても『NO』と言われない。アメリカとイスラ

最賃全国一律制度導入! いますぐ1700円・めざせ2000円!



講師の中澤准教授

エルはイランへの攻撃をただちに停止せよ。国際社会は対話と平和の道に立ち戻れ」と訴えました。ランチタイムデモでは、オフィス街に「軍事攻撃をただちに停止」「高市首相は停戦を求めろ」のコールを響かせ、沿道の市民や外国人観光客なども含めて、多くの人が参加しました。

おすすめようーひろげようー! 最賃署名学習交流会

4月1日、大阪労連は最賃署名学習交流会を開催しました。主催者挨拶で、福岡議長は「賃金は労働の再生産の費用。我慢しなくて、まともに生活ができる賃金と、最低賃金1700円を実現しよう」と呼びかけました。学習会では、静岡県立大学短期大学部の中澤准教授を講師に「生計費原則にもとづく運動の前進」をテーマに学習しました。参加者からは「賃金が上がらないのは政治のあり方に問題があることがわかった」「少子化対策には最賃を上げるのが最も効果的」との感想が寄せられました。

国労大阪会館を 研修・学習会などにご利用ください JR・天満駅 地下鉄・扇町駅 下車すぐ ◆身障者用昇降機設置 お申し込みは ☎06(6354)0661 〒530-0034 大阪市北区錦町2-2